

# 令和4年度シラバス（体育）

56 新潟県立八海高等学校

教科（科目）	スポーツⅡ	単位数	2	学年（コース）	普通科3学年（スポーツコース）
使用教科書	なし				
副教材等	なし				

## 1 学習目標

球技の専門的な理解と高度な技能の習得を目指した主体的、合理的、計画的な実践を通して、自己の課題を解決できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの振興発展にかかわることができる資質や能力を育てる。

## 2 指導の重点

球技の運動特性を理解し、

- ①基礎技術の習得を目指す。
- ②ゲームを展開していく中で、仲間と協力し合い積極的にゲームを楽しみ、公正な審判などができる。
- ③ターゲット型球技への多様な関わり方を目指す。

## 3 学習計画

学期	主要学習領域及び学習活動	時間	評価方法
1学期	オリエンテーション	1	関心・意欲・態度
	ゴルフ	16	思考・判断
	フットサル	7	運動の技能
	テニス	6	知識・理解
2学期	ゴルフ	17	授業の出欠席
	テニス	6	内容への取り組み
	卓球	5	などを総合的に判断
3学期	卓球	6	

## 4 評価規準と評価方法

計 64時間（55分授業）

①関心・意欲・態度	②思考・判断	③技能	④知識・理解
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。
上記の観点から、① 35% ② 20% ③ 30% ④ 15% 程度で総合的に判断する。			

## 5 担当者からの一言

自ら考え、自ら行動する態度を身に付け、運動の基本、運動領域の経験を踏まえた上で、自己に厳しく積極的に取り組む。健康の保持増進のための実践力を身に付ける。